

国士舘大学大学院入学試験問題用紙

修士課程

研究科	専攻	試験科目	参考書等持込
経済学研究科	経済学専攻	国際経済論研究	不可

下記の2つの問題について、説明しなさい。

- (1) 気候変動対策と国際貿易との関係について論じ、「炭素国境調整措置 (CBAM)」などの政策の意義と課題を検討せよ。
- (2) 経済安全保障の観点から見たグローバル・サプライチェーン再構築の動向と、その経済的・地政学的含意を論じよ。

令和8年度 国土舘大学大学院入学試験

出題の意図と採点のポイント

研究科名	経済学研究科 経済学専攻
試験期別	I期
試験区分	一般選考
試験科目名	国際経済論研究

■出題の意図

- (1) 本設問は、持続可能な開発という現代の国際経済の中核的課題と、貿易政策の整合的展開を理解しているかを問うものである。特に EU が導入を進める「炭素国境調整措置 (CBAM)」を具体例に、貿易政策と環境政策の接点を理解し、自由貿易原則や WTO ルールとの整合性、発展途上国への影響など多角的な視点からの分析力を確認したい。
- (2) この設問は、米中対立や新型コロナ危機、ロシアによるウクライナ侵攻以降に強調されるようになった「経済安全保障」の概念を理解し、サプライチェーン政策が単なる経済効率性ではなく、政治・地政学リスクの制御という観点から再構築されつつある現状をどの程度認識しているかを問う。産業政策や通商戦略にまたがる現代的政策課題への理解力と、国際政治経済の接点を分析する力を評価したい。

■採点のポイント

(1)

評価項目	配点	採点基準の具体内容
① 貿易と気候変動の基本的関係の理解	20点	排出削減と自由貿易のジレンマ、政策対立を認識しているか
② CBAM の仕組みと目的の説明	25点	課税対象、算出方法、EU の政策意図などの基本構造を正確に記述できているか
③ CBAM の意義・効果の分析	20点	排出削減誘導、カーボンリーケージ防止、国内産業保護などの意義を的確に論じているか
④ 課題と論点の指摘・分析	25点	WTO 整合性、発展途上国への不利益、外交的摩擦などの論点を把握し、自身の意見を述べているか
⑤ 構成力と論理的な表現	10点	序論・本論・結論の構成があり、論理性のある記述となっているか